

2017年9月施行症例の集計結果/ 概要

施設数	201		
症例数	2438		
年齢	66.0±10.8歳		
男/女	1730 (71.0%) /708 (29.0%)		
セッション回数	1回め	1932	79.2%
	2回め	400	16.4%
	3回め以上	106	4.3%
AFの種類	発作性	1478	60.6%
	持続性*	697	28.6%
	長期持続性	263	10.8%
血栓塞栓症のリスク (CHA2DS2-VAScなど)	C/心不全	461	18.9%
	H/高血圧	1377	56.5%
	A2/75歳以上	507	20.8%
	D/糖尿病	379	15.5%
	S2/脳梗塞・TIA	218	8.9%
	V/血管疾患	220	9.0%
	A/65-74歳	1036	42.5%
	Sc/女性	698	28.6%
	CHADS2	1.30±1.17	
	CHA2DS2-VASc	2.31±1.60	
	上記に無い基礎疾患	CAD	163
DCM		44	1.8%
HCM		62	2.5%
その他の心筋疾患(サルコイドーシスなど)		20	0.8%
洞不全症候群		134	5.5%
甲状腺機能亢進症、その既往		37	1.5%
慢性呼吸器疾患		54	2.2%
先天性心疾患		27	1.1%
後天性弁膜症		56	2.3%
腎機能低下		242	9.9%
人工透析を要する腎症		33	1.4%
開心術後	50	2.1%	
心エコーのデータ	左室駆出分画(EF/%)	61.8±10.8	
	左房径(mm)	40.6±6.8	
抗不整脈薬の効果	治療歴なし	950	39.0%
	薬物治療抵抗性	1157	47.5%
	有効な抗不整脈薬あり	116	4.8%
抗不整脈薬の服用歴	ジソピラミド	81	3.3%
	シベンゾリン	152	6.2%
	アプリンジン	60	2.5%
	ピルジカイニド	475	19.5%
	フレカイニド	205	8.4%
	プロパフェノン	55	2.3%
	ベプリジル	357	14.6%
	アミオダロン	142	5.8%
その他(ベラパミルは除く)	137	5.6%	
アブレーション前の検査	経食道心エコー/TEE	1647	67.6%
	MRI	25	1.0%
	MDCT	2160	88.6%
治療に要した時間	入室から退室	3.1±1.2時間	

透視時間	時間(分)	40.5±26.3分		
特殊な診断治療機器	CARTO	1284	52.7%	
	EnSite	846	34.7%	
	Rhythmia	73	3.0%	
	イリゲーションカテーテル	189	7.8%	
	ノン-イリゲーションカテーテル	1882	77.2%	
	クライオバルーン	636	26.1%	
	クライオカテーテル	45	1.8%	
	ホットバルーン	38	1.6%	
	焼灼法 ●以前のPVIが不完全なため追加焼灼したものを含む	PV隔離 上下PV一括隔離	1343	55.1%
PV隔離 個別隔離		855	35.1%	
PV隔離 Box隔離 (4本一括隔離)		115	4.7%	
PV隔離を行わず (既に隔離済みのため)		113	4.6%	
PV隔離を行わず (これまでも未施行)		3	0.1%	
右房のCFAE		36	1.5%	
左房のCFAE		102	4.2%	
RA focal		75	3.1%	
LA focal		96	3.9%	
LA 線状/天蓋部		439	18.0%	
LA 線状/僧房弁輪(峡部もしくは前壁ライン)		161	6.6%	
LA 線状 (PV隔離と天蓋部・僧房弁輪以外)		281	11.5%	
右房解剖学的峡部		1110	45.5%	
SVC/focal or 隔離		487	20.0%	
GPアブレーション		29	1.2%	
冠静脈洞/ focal, linear		56	2.3%	
PLSVC/ focal, linear		6	0.2%	
マーシャル静脈への高周波アブレーション		10	0.4%	
マーシャル静脈へのChmeicalアブレーション		14	0.6%	
低電位領域へのアブレーション		87	3.6%	
Roter (Driver)		5	0.2%	
術中も作用を残した抗血栓療法 ●前日まで使用したNOACを含む		ワーファリン	237	9.7%
		ダビガトラン(プラザキサ)	308	12.6%
	リバーロキサバン(イグザレルト)	595	24.4%	
	アピキサバン(エリキュース)	636	26.1%	
	エドキサバン(リクシアナ)	567	23.3%	
	抗血小板剤(アスピリン等)	92	3.8%	
	術中の麻酔方法 ●主なものをひとつ	Minimal sedation	181	7.4%
意識下鎮静(中等度鎮静)	777	31.9%		
深鎮静:鎮静に専従する医師による	105	4.3%		
深鎮静:上記以外による	1064	43.6%		
全身麻酔	290	11.9%		
鎮静に用いた薬剤	プロポフォール (ディプリバン)	1325	54.3%	
	デクスメトミジン (プレセデックス)	1453	59.6%	
	ミダゾラム (ドルミカム)	317	13.0%	
	ペンタゾシン (ソセゴン、ペンタジン)	1250	51.3%	
	ヒドロキシジン(アタラックスP)	939	38.5%	
	フェンタニル	665	27.3%	
	その他	623	25.6%	
術中モニター・管理	動脈圧	1995	81.8%	
	SpO2	2416	99.1%	
	ETCO2	523	21.5%	
	BIS	959	39.3%	
	ASV/BiPAP	890	36.5%	

	径鼻エアウェイ・経口エアウェイ	443	18.2%
	ラリングアルマスク	466	19.1%
	食道温測定	2086	85.6%
術中の電氣的除細動	0回	1293	53.0%
	1回	663	27.2%
	2回	227	9.3%
	3回	121	5.0%
	4回以上	282	11.6%
焼灼後のAF誘発	施行して持続した(5分以上の持続)	289	11.9%
	施行したが持続しない(5分未満)	1026	42.1%
	施行せず	1123	46.1%
合併症	ドレナージを要さない心膜液貯留(心外膜炎を除く)	8	0.3%
	ドレナージを要した心膜液貯留	10	0.4%
	開胸を要した心膜液貯留	1	0.0%
	房室ブロック + 一時的ペースメーカ	0	0.0%
	房室ブロック + 恒久型ペースメーカ	2	0.1%
	洞停止・洞性徐脈 + 一時的ペースメーカ	8	0.3%
	洞停止・洞性徐脈 + 恒久型ペースメーカ	0	0.0%
	TIA	0	0.0%
	脳梗塞	1	0.0%
	画像検査で確認された無症候の新鮮脳梗塞	3	0.1%
	気胸	0	0.0%
	血胸	0	0.0%
	一過性横隔神経麻痺	13	0.5%
	遷延性横隔神経麻痺	7	0.3%
	空気塞栓	4	0.2%
	肺静脈狭窄 (75%以上)	0	0.0%
	動静脈瘻	4	0.2%
	穿刺部血腫	14	0.6%
	後腹膜血腫	1	0.0%
	仮性動脈瘤	4	0.2%
	左房食道瘻	1	0.0%
	食道心嚢瘻	0	0.0%
	食道縦隔瘻	0	0.0%
	心外膜炎	2	0.1%
	食道神経叢障害/急性胃拡張	4	0.2%
	その他の重篤な合併症	1	0.0%
	死亡	1	0.0%
	合併症件数(人数)	89	84人/3.4%
退院時の処方	ワルファリン	229	9.4%
	ダビガトラン (プラザキサ)	261	10.7%
	リバーロキサバン (イグザレルト)	610	25.0%
	アピキサバン (エリキューズ)	694	28.5%
	エドキサバン (リクシアナ)	598	24.5%
	抗血小板薬 (アスピリン等)	171	7.0%
	ジソピラミド	17	0.7%
	シベンゾリン	70	2.9%
	アプリンジン	23	0.9%
	ピルジカイニド	103	4.2%
	フレカイニド	108	4.4%
	プロパフェノン	15	0.6%
	ベプリジル	346	14.2%
	アミオダロン	119	4.9%

	その他の抗不整脈薬	40	1.6%
	ベラパミル	55	2.3%
	β遮断薬	964	39.5%
	ACE阻害薬	160	6.6%
	ARB	534	21.9%
	スタチン	429	17.6%